

2021年11月24日

各位

社 名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 管理本部 IR 室 (TEL.03-5472-1125)

トリアキシン®液剤 (RTD製剤) の有効期間延長に関する 承認取得のお知らせ

シンバイオ製薬株式会社 (本社: 東京都、以下「シンバイオ」) は、本日、「トリアキシン®点滴静注液100mg/4mL」 (RTD製剤、Ready-To-Dilute: 溶解不要で希釈するのみの製剤) について、長期安定性試験の結果に基づき有効期間を30箇月に延長することを目的とした、医薬品製造販売承認事項に係る一部変更承認を取得しましたのでお知らせいたします。

シンバイオは、2017年9月にEagle Pharmaceuticals, Inc. (本社: 米国ニュージャージー州) とRTD製剤の日本における独占的ライセンス契約を締結し、特許保護を通じてトリアキシン®の製品ライフサイクルを2031年まで延長することを可能としました。RTD製剤は、トリアキシン®凍結乾燥注射剤 (FD製剤) に比べて、手動による煩雑な溶解作業とそのため要する時間が不要であり、医療関係者の負担を大幅に低減することにより大きな付加価値を提供できます。

なお、本件が2021年12月期業績に与える影響はありません。

以上

【トレアキシン®（一般名：ベンダムスチン）について】

殺細胞性の抗腫瘍薬であり、1970年代からドイツで使用が開始され、現在50ヵ国以上で低悪性度非ホジキンリンパ腫（低悪性度NHL）、マントル細胞リンパ腫（MCL）、慢性リンパ性白血病（CLL）などを適応症として使用されています。国内においてはFD製剤で、2010年10月に再発又は難治性低悪性度NHL及びMCLを適応症として医薬品製造販売承認を取得した後、2016年8月にCLLに対する効能追加の承認を取得し、2016年12月に未治療の低悪性度NHL及びMCLに対する効能追加の承認を取得しています。また、2020年9月にRTD製剤について、上記のすべての効能において医薬品製造販売承認を取得しました。さらに、FD製剤及びRTD製剤で、それぞれ2021年3月及び2021年4月に再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）に対する効能追加の承認を取得しています。

【当会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、旧アムジェン株式会社の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としています。なお、2016年5月に米国完全子会社 SymBio Pharma USA, Inc.（本社：米国ノースカロライナ州 ダーラム、社長：吉田文紀）を設立しました。